

20.9.16

日経産業新聞

V B育成施設に インド系初入居

川崎市

【川崎】アジア企業の誘致を目指す川崎市のベンチャー育成施設「アジア起業家村」に初めてインド系のIT(情報技術)関連企業が入居した。イ

ンド人のIT技術者の派遣などを手掛けるマーケットアイ(川崎市)で、同施設の入居企業としては二十二社目。

インド人のシー・マデアスハガン、野口友康両氏が代表取締役を務める。日本企業のほか、国内に拠点を置く海外企業にインド人の技術者を派遣し、ソフトウェア開発などを引き受ける。

技術者は約千五百人が登録。CAD(コンピューターによる設計)や金融関係の分野に特化し、五年以内に売り上げ規模を二億―三億円にするという。